

令和8年度
全国健康保険協会徳島支部
保険者機能強化予算(案)

Copyright © Japan Health Insurance Association. All right reserved.



全国健康保険協会 徳島支部
協会けんぽ

保険者機能強化予算

各支部が地域性を踏まえた独自の取組を意欲的に行うことで、基盤的保険者機能や戦略的保険者機能を一層発揮できるよう、令和元年度に創設された予算。

予算区分	予算分類
保険者機能強化予算	医療費適正化対策経費
	広報・意見発信経費
	健診経費
	保健指導経費
	重症化予防事業経費
	コラボヘルス事業経費
	その他経費
基礎的業務関係予算	上記を除く業務経費
	業務経費
	一般管理費
	事務経費、福利厚生費他

単位：千円

医療費適正化等予算		No	分類	分類	事業名	R8予算
医療費適正化 対策経費	企総	1	定型	新規	上手な医療のかかり方・ジェネリック医薬品・バイオシミラーの利用促進にかかる新聞広告の掲載	1,012
	業務	2	課題	新規	健康保険給付の概要と申請書のチェックポイント動画の制作	1,221
	小計					2,233
広報・意見発信経費	企総	3	定型	継続	けんこうウォークの共催	349
	企総	4	課題	継続	LINEを活用した情報提供における健康サポートコラムの作成	1,730
	企総	5	課題	継続	地方紙（デジタル版）への記事掲載	264
	企総	6	定型	継続	納入告知書同封チラシ	1,516
	業務	7	定型	継続	任意継続申請書セット	136
	企総	8	定型	継続	健康宣言・健康保険委員勧奨リーフレット	444
	企総	9	課題	新規	給付制度周知等の複合的な広報にかかる新聞折込チラシ制作	2,547
	業務	10	課題	新規	電子申請・けんぽアプリ利用促進ポスターの制作	77
	小計					7,062
	合計					9,295
予算						9,310

単位：千円

保健事業予算		No	分類	分類	事業名	R8予算
健診経費	保健	11	定型	継続	健診実施機関実地指導旅費	50
	保健	12	定型	継続	委任状取得費（健診機関）	44
	保健	13	定型	継続	データ作成等経費（健診機関・事業主）	2,310
	保健	14	課題	継続	事業者健診結果データの取得勧奨	5,456
	保健	15	課題	継続	被保険者に対する集団健診案内（生活習慣病予防健診・人間ドック健診）	1,898
	保健	16	課題	継続	被扶養者に対する特定健診集団健診実施案内	2,783
	保健	17	課題	継続	被扶養者に対する特定健診とがん検診の同時実施案内	792
	保健	18	定型	継続	生活習慣病予防健診等の受診勧奨案内	818
	保健	19	定型	継続	特定健診の受診勧奨案内	686
	保健	20	課題	新規	加入事業所に対する生活習慣病予防健診・人間ドック健診案内	110
小計						14,947
保健指導経費	保健	21	定型	継続	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	192
	保健	22	定型	継続	保健指導用図書購入費	55
	保健	23	定型	継続	公民館等における特定保健指導	15
	保健	24	定型	継続	特定保健指導の利用拡大	235
	小計					
重症化予防事業経費	保健	25	課題	新規	一次・二次勧奨対象者への未治療者への受診勧奨	4,686
	保健	26	課題	継続	慢性腎臓病重症化予防	54
	小計					
コラボヘルス事業経費	企総	27	課題	継続	「健康宣言事業所」「健康経営優良法人」の推進	3,472
	企総	28	課題	継続	健康宣言事業所に対する健康づくり講座の実施（外部委託）	2,640
	小計					
その他保健事業	保健	29	課題	継続	徳島県内小学校高学年児童へのこども健康教育の実施	550
	小計					
合計						26,847
予算						26,849

単位：千円

その他		No	分類	分類	事業名	R8予算
保健事業	保健	30	定型	継続	オプション健診(骨・歯・眼底)	3,412
		31	定型	継続	保健指導推進経費	762
最重点広報 (全支部共通)	企総	32	課題	継続	令和9年度保険料率改定（インセンティブ制度の周知を含む）	1,621
		33	課題	新規	健診体系の見直し（現役世代への健診事業の拡充）	1,649
		34	課題	新規	健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり	1,650
		35	課題	新規	電子申請・けんぽアプリの利用促進	315
重点広報 (支部選択)	企総	—	課題	継続	医療費適正化	---
	企総	—	課題	継続	マイナ保険証の利用促進	---
	企総	—	課題	継続	LINEの利用促進	---
特別広報 (本部より指示)	企総	—	課題	新規	制度改正等の状況を踏まえて適宜対応する（現時点で設定なし）	---

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
医療費適正化対策経費	企総	1	定型	新規	上手な医療のかかり方・ジェネリック医薬品・バイオシミラーの利用促進にかかる新聞広告の掲載	【ターゲット】加入者 【実施内容】徳島新聞5段カラー広告にて、支部独自で新聞広告記事を作成の上、関係団体とも連携（後援等）した広告掲載を実施する。	徳島県内における朝刊世帯普及率50.05%(2025年4月現在)を占める徳島新聞紙面に、視認性の高いカラー紙面で広報を行い、広く加入者の理解度を上げることでヘルスリテラシーの向上を図り医療費が適正に使用されることを期待する。	1,012
医療費適正化対策経費	業務	2	課題	新規	健康保険給付の概要と申請書のチェックポイント動画の制作	令和7年11月期の給付全体の処理件数は2,307件（前年同月比21減）、うち自動処理件数は1,080件（前年同月比108増）、確認処理件数は1,029件（前年同月比59減）、返戻処理件数は198件（前年同月比64減）であり、給付全体の自動審査率は51.2%（前年同月比3.9ポイント増）、返戻率は8.6%（前年同月比2.7ポイント減）となっている。このうち、傷病手当金の処理件数は991件であり、給付全体に占める処理件数の43.0%を占め、傷病手当金の返戻件数は107件であり、給付全体に占める返戻件数の54.0%を占めている。傷病手当金の返戻原因で最も多いのは、傷病名のチェック回漏れ、次いで仕事内容の記載漏れであり、この2項目が傷病手当金の返戻発生原因の約20パーセントを占めている。これらの記入誤りを解消するため、各種現金給付支給申請書（10種類）の概要と返戻発生原因の内容（チェックポイント）を網羅した動画を作成し、ソーシャルメディアを利用して情報発信を行うもの。	各種現金給付支給申請書の返戻書類を解消することで、自動審査率の増加による生産性の向上と業務処理の効率化を図ることにより、基幹業務に携わる人員を戦略的保険者機能事業にシフトすることを最終の目標とする。	1,221
広報・意見発信経費	企総	3	定型	継続	けんこうウォークの共催	【ターゲット】加入者 【実施内容】徳島県社会保険協会と共にけんこうウォークを開催し、休日に運動実践の場所と機会を提供することにより、加入者の健康づくりに資することを目的とする。	休日に開催することで幅広い年代の加入者が参加しやすい状況を確保し、ウォーキングを通じて参加者の心身の健康増進を図り、生活習慣病予防および運動習慣の定着のきっかけとなることを期待する。	349
広報・意見発信経費	企総	4	課題	継続	LINEを活用した情報提供における健康サポートコラムの作成	【ターゲット】加入者 【実施内容】5月の禁煙週間、9月の健康増進普及月間等の機会をとらえた、日常生活の中で活用できる健康サポートコラムを専門業者へ作成を委託し、配信することでヘルスリテラシーの向上及び、LINEの登録者数・クリック数の増加を図る。	5月の禁煙週間、9月の健康増進普及月間等の機会をとらえた、日常生活の中で活用できる健康サポートコラムを加入者へ直接情報提供することにより、加入者のヘルスリテラシーの向上を期待する。また、健康コラム記事の配信を目的として、メルマガ登録者数、LINE登録者数、及び記事クリック数の増加を期待する。	1,730

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
広報・意見 発信経費	企総	5	課題	継続	地方紙（デジタル版）への記事 掲載	【ターゲット】加入者 【実施内容】20代～40代の社会人の閲覧が期待できる広報媒体として県内を代表する徳島新聞のデジタル版を用いることにより、加入者自身のヘルスリテラシーの向上に資することを期待し、上手な医療のかかり方の広報記事を掲載する。	生活習慣の改善に取り組む「気付き」を持たせることにより、時間外受診の低下やジェネリック医薬品の使用割合向上といった上手な医療のかかり方の認知向上に寄与することが期待される。	264
広報・意見 発信経費	企総	6	定型	継続	納入告知書同封チラシ	【ターゲット】事業所（被保険者） 【実施内容】毎月事業所へ送付される納入告知書送付機会を活用し、広報を行うためチラシ作成を実施する。	事業所担当者において確実に開封される文書送付機会を活用することによって、確実に伝えたい内容が全被保険者に認知および理解されることを期待する。	1,516
広報・意見 発信経費	業務	7	定型	継続	任意継続申請書セット	退職後の任意継続制度の周知	-----	136
広報・意見 発信経費	企総	8	定型	継続	健康宣言・健康保険委員勧奨 リーフレット	【ターゲット】未宣言事業所および委員未登録事業所 【実施内容】健康宣言及び健康保険委員のメリット等を盛り込んだリーフレットを作成し、健康宣言の新規エントリーおよび健康保険委員の登録勧奨を実施する。	健康宣言登録事業所数の増加と健康保険委員登録者数の増加を期待する。	444
広報・意見 発信経費	企総	9	課題	新規	給付制度周知等の複合的な広報にかかる新聞折込チラシ制作	【ターゲット】加入者 【実施内容】本取組では、広報媒体として県内を代表する徳島新聞でのB3両面の折込チラシを実施する。徳島県全域に協会けんぽの役割、新ロゴ、タグラインの周知及び給付制度周知等の複合的な広報を行うことで認知度アップ及び返戻率の減少を図る。	発行部数155,030部、世帯普及率50.05%（令和7年4月現在）の徳島新聞折込チラシで表一面に新ロゴ、タグラインのみを乗せ、インパクトを与え、裏面で給付制度周知等を行うことにより、協会けんぽの認知度アップ及び給付申請書の返戻率の減少が期待できる。	2,547

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
広報・意見 発信経費	業務	10	課題	新規	電子申請・けんぽアプリ利用促進ポスターの制作	令和7年11月期の給付全体の処理件数は2,307件（前年同月比21減）、うち自動処理件数は1,080件（前年同月比108増）、確認処理件数は1,029件（前年同月比59減）、返戻処理件数は198件（前年同月比64減）であり、給付全体の自動審査率は51.2%（前年同月比3.9ポイント増）、返戻率は8.6%（前年同月比2.7ポイント減）となっている。このうち、傷病手当金の処理件数は991件であり、給付全体に占める処理件数の43.0%を占め、傷病手当金の返戻件数は107件であり、給付全体に占める返戻件数の54.0%を占めている。傷病手当金の返戻原因で最も多いのは、傷病名のチェック団漏れ、次いで仕事内容の記載漏れであり、この2項目が傷病手当金の返戻発生原因の約20パーセントを占めている。これらの記入誤りを電子申請によって解消するため、電子申請・けんぽアプリの利用促進勧奨（紙媒体申請から電子申請への転換勧奨）ポスターを作成し、健保委員委嘱事業所約2,000社を中心に配付のうえ、事業主及び加入者に利用促進勧奨を行う。	申請件数の5パーセント（目標値）を電子申請に転換することで、自動審査率の増加による生産性の向上と業務処理の効率化を図ることにより、基幹業務に携わる人員を戦略的保険者機能事業にシフトすることを最終の目標とする。	77
健診経費	保健	11	定型	継続	健診実施機関実地指導旅費	実地調査先に訪問する際に利用する公共交通機関等の費用	-----	50
健診経費	保健	12	定型	継続	委任状取得費（健診機関）	健診機関が事業者健診結果を提供するために必要な委任状取得の委託費	-----	44
健診経費	保健	13	定型	継続	データ作成等経費（健診機関・事業主）	健診機関、事業主による事業者健診結果データ作成に要する経費	-----	2,310
健診経費	保健	14	課題	継続	事業者健診結果データの取得 勧奨	事業者健診結果の取得について、現在の支部の体制でコンスタントな勧奨を実施するには限界があり、提供数の減少が見込まれる。外部委託し効率的に勧奨を行うことにより、事業者健診結果の取得を促進する。併せて提供された健診結果のパンチ業務を委託する。【対象者】22,000人	文書勧奨と電話勧奨を実施することにより、未提供事業所への事業者健診結果データ提供の周知を図る。勧奨事業所数を前年度より増加させることで、健診結果取得数の拡大を見込む。	5,456

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
健診経費	保健	15	課題	継続	被保険者に対する集団健診案内（生活習慣病予防健診・人間ドック健診）	生活習慣病予防健診等の案内は事業所宛に行っているが、被保険者本人への周知が不足している。 生活習慣病予防健診・人間ドック健診の集団健診会場の周辺に住む被保険者に対して集団健診案内DMを送付することにより、健診の周知及び受診への利便性を伝えるとともに、受診率向上を図る。 また、集団健診の案内に限らず近隣の健診機関施設や予約可能状況を踏まえたうえでの案内DMを作成し、受診を促す。【対象者】4回、延べ87,000人	集団健診会場ごとに案内をすることで、生活習慣病予防健診・人間ドック健診の周知拡大と受診への利便性を効率的に伝えることができるとともに、受診者数の拡大を図る。	1,898
健診経費	保健	16	課題	継続	被扶養者に対する特定健診集団健診実施案内	受診者が関心を持ちやすいオプション健診を付加し、自己負担額が無料の集団健診を実施し、個人あてに案内することにより、特定健診の周知および受診者数の拡大を図る。 また、実施可能な会場においては、自己負担額を補助するオプション健診をの付加や、被保険者の生活習慣病予防健診と特定健診を同時に実施することにより、集客力の向上並びに、家族の健診受診への関心を高める。【対象者】4回、延べ23,000人	骨粗しょう症検査や眼底検査の、受診者の関心を高める検査を付加し、自己負担額を無料にした県内の健診会場の案内をすることで、健診に対する考動を促し健診受診者の増加が見込まれる。 複数の実施機関の会場を掲載する秋季の案内について、サイズを前年度までのはがきからA4サイズに変更することで、案内を見易いように作成し受診の申込につなげる。	2,783
健診経費	保健	17	課題	継続	被扶養者に対する特定健診とがん検診の同時実施案内	市町村のがん検診と特定健診の同時実施日程を掲載したDMを被扶養者に直接送付し案内を行う。 本事業により、被扶養者の健診受診の機会が広がり、受診者数の増加が期待される。例年、地域で受診できることについて、被扶養者や市町村からも好評をいただいている。特定健診の周知及び受診者数を増加させるため、DM送付市町村（令和7年送付希望：18市町村）の拡大を図る。あわせて、市町村との連携協定を活かし、共同広報も行う。【対象者】24,000人	①健診対象者への特定健診の周知及び受診者数の拡大 ②市町村がん検診の拡大 ③市町村との連携拡大	792
健診経費	保健	18	定型	継続	生活習慣病予防健診等の受診勧奨案内	令和9年度における健診案内等の発送業務に合わせて事業所宛の健診案内状等を作成し、同封する【対象者】16,000社	-----	818
健診経費	保健	19	定型	継続	特定健診の受診勧奨案内	令和9年度における健診案内等の発送業務に合わせて実施機関一覧表等を作成し、同封する【対象者】26,000人	-----	686

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
健診経費	保健	20	課題	新規	加入事業所に対する生活習慣病予防健診・人間ドック健診案内	35歳以上の被保険者が5名以上で、令和6年度における生活習慣病予防健診の受診率が49%以下の事業所に対し、生活習慣病予防健診と人間ドック健診について周知及び案内する広報物を作成し、受診を促す。従業員にも周知するよう呼びかける文言を入れ、受診率向上を図る。あわせて、市町村との連携協定を活かし、共同広報も行う。 【対象者】2,000社	生活習慣病予防健診・人間ドック健診の周知及び受診率向上	110
保健指導経費	保健	21	定型	継続	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	特定保健指導実施に使用するマスク、機器消毒に使用するアルコール、測定器のインクなどの費用	-----	192
保健指導経費	保健	22	定型	継続	保健指導用図書購入費	健康情報に関する書籍などの購入費用	-----	55
保健指導経費	保健	23	定型	継続	公民館等における特定保健指導	特定保健指導を事業所で実施できない場合などに使用する貸会場経費	-----	15
保健指導経費	保健	24	定型	継続	特定保健指導の利用拡大	特定保健指導案内時に同封するパンフレットを作成費用	-----	235
重症化予防事業経費	保健	25	課題	新規	一次・二次勧奨対象者への未治療者への受診勧奨	血圧、血糖、LDLコレルテロールが一定の基準以上の未治療者へ文書・電話による医療機関への受診勧奨の外部委託化（本部が実施する一次勧奨の後に実施する勧奨） 【対象者】文書 月620件、年間7440件、電話 月45件、年間540件	医療機関での治療が必要であることの勧奨を行うことで、加入者のQOLの維持を図る	4,686
重症化予防事業経費	保健	26	課題	継続	慢性腎臓病重症化予防	腎機能低下者(糖尿病性腎症を疑われる者を含む)に「健康情報パンフレット」を送付し、自身の状態を理解し、健康管理してもらう 【対象者】eGFR45未満、蛋白尿2+、尿蛋白(+)且つ尿潜血(+)以上の者 月60件、年間700件	医療機関での治療が必要であることの勧奨を行うことで、加入者のQOLの維持を図る	54

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
コラボヘルス事業経費	企総	27	課題	継続	「健康宣言事業所」「健康経営優良法人」の推進	【ターゲット】 事業所 【実施内容】 令和7年11月時点での宣言事業所数は942件。令和8年の宣言事業所数のKPI目標値である1,030件に到達させるために、外部委託によりリーフレットを作成し、未宣言事業所に対する宣言勧奨で周知を図り、宣言事業所数の獲得を目指す。また、健康宣言済事業所へのフォローアップとして四季ごとに健康情報誌等の提供を行う。	職場における健康づくり活動の活性化。 宣言事業所数（KPIの達成）、健康経営優良法人数の増加。	3,472
コラボヘルス事業経費	企総	28	課題	継続	健康宣言事業所に対する健康づくり講座の実施（外部委託）	【ターゲット】 健康宣言済事業所 【実施内容】 徳島支部加入者の医療費及び健診データ等を分析した結果、導き出された健康課題は以下のとおり。 ①医療費データ：全体的に一人当たり医療費は高水準にあるが、入院及び入院外ともに、「精神及び行動の障害」、「生活習慣病関連疾患（「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「循環器系の疾患」）の寄与度が高い。 ②健診データ：BMIのリスク保有率、運動習慣改善者の割合が高いこれらの課題の解決を図るために、健康宣言済事業所へのフォローアップとして、メンタルヘルスや生活習慣改善を主なメニューとした健康づくり講座（外部委託）を提供する。	健康づくりに対する意識向上による、加入者の健康状態の改善（徳島支部加入者の健康課題の改善を図る）。 健康宣言事業所に対するフォローアップの充実。 健康宣言事業所拡大のツール。	2,640
その他保健事業	保健	29	課題	継続	徳島県内小学校高学年児童へのこども健康教育の実施	児童への健康教育を実施することにより、若いうちからのヘルスリテラシーを向上させ、健康増進を図る。	健康への関心を高めることにより、将来の医療費の抑制につなげる。	550
保健事業	保健	30	定型	継続	オプション健診(骨・歯・眼底)	秋季から年度末にかけて、県内各地の被扶養者を対象に、オプション健診を一部無料で提供し、集団健診の集客を図る。	特定健診とオプション健診の自己負担額を無料にすることにより、集客力を高めた特定健診を周知する。 生活習慣病予防健診と同時可能な機関については、同時実施する。	3,412
保健事業	保健	31	定型	継続	保健指導推進経費	特定保健指導終了者が一定の条件を満たした特定保健指導実施機関へ支払う報奨金のための経費	特定保健指導実施件数の増加につなげる。	762

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
最重点広報 (全支部共通)	企総	32	課題	継続	令和9年度保険料率改定 (インセンティブ制度の周知を含む)	【ターゲット】 被保険者・事業主 【広報媒体】 チラシ・LINE・メールマガジン・新聞広告・関係団体広報誌・WEB広告 【広報内容】 都道府県単位保険料率と保険料率設定の仕組みとインセンティブ制度の周知	加入者・事業主の取組で保険料率が下がる仕組みであることを理解いただき、保険料率・インセンティブ制度の関心を高め、加入者・事業主の行動変容を促進することで医療費適正化を図り、保険料率が低減となることを期待する。	1,621
最重点広報 (全支部共通)	企総	33	課題	新規	健診体系の見直し (現役世代への健診事業の拡充)	【ターゲット】 加入者（被扶養者）・事業主 【広報媒体】 チラシ・LINE・メールマガジン・新聞広告・健康保険委員広報誌・関係団体広報誌・YouTube広告・WEB広告 【広報内容】 人間ドック補助・若年層対象健診の実施・健診項目の見直しの周知	医療費の適正化及び加入者の健康の保持増進をより一層推進し、就労等により生活習慣が変化する20代から健康意識の醸成を図り、加入者の自主的な健康増進及び疾病予防の取組を期待する。	1,649
最重点広報 (全支部共通)	企総	34	課題	新規	健康保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり	【ターゲット】 加入者・事業主 【広報媒体】 チラシ・LINE・メールマガジン・関係団体広報誌・バックパネル・タペストリー・ポスター 【広報内容】 健康保険制度の意義・協会けんぽの役割・コミュニケーションロゴやタグラインの周知	健康保険制度の意義や役割を周知することで加入者・事業主が協会や協会の役割に関心を持ち、共感し、協会の事業に協力する関係性が構築できることを期待する。	1,650
最重点広報 (全支部共通)	企総	35	課題	新規	電子申請・けんぽアプリの利用促進	【ターゲット】 加入者・事業主・担当者・健康保険委員・社会保険労務士 【広報媒体】 チラシ・LINE・メールマガジン・健康保険委員広報誌、関係団体広報誌・研修会・雑誌 【広報内容】 電子申請・けんぽアプリの開始やそのメリット、利用方法等を継続的に広く周知	利用者数の増加により加入者の利便性の向上等けんぽDXが進展していくことを期待する。	315
重点広報 (支部選択)	企総	—	課題	継続	医療費適正化	【ターゲット】 加入者 【広報媒体】 新聞広告掲載 【広報内容】 ジェネリック医薬品およびバイオシミラーの使用促進・上手な医療のかかり方の周知	ジェネリック医薬品およびバイオシミラーの理解度および使用割合の向上、不要な時間外受診の減少による医療費の適正化を期待する。	No1・5により実施

予算区分	担当	No	分類	分類	事業名	事業概要	期待効果	R8予算
重点広報 (支部選択)	企総	—	課題	継続	マイナ保険証の利用促進	【ターゲット】 加入者・事業主 【広報媒体】 LINE・納入告知書同封チラシ・メールマガジンでの記事掲載 【広報内容】 資格確認書や資格情報のお知らせの使用方法、スマホ保険証など、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う変更点について継続した周知	利用率向上を目指し、継続的に広報を実施することで全国平均値以上のマイナ保険証利用率となることを期待する。	No 6等 により実施
重点広報 (支部選択)	企総	—	課題	継続	LINEの利用促進	【ターゲット】 加入者・事業主 【広報媒体】 納入告知書同封チラシ及びメールマガジンでの記事掲載 【広報内容】 おともだち登録勧奨	直接情報を届けることが可能な利便性が高い媒体である仕組み、メリット等を積極的に周知することで登録者数の増加を期待する。	No 6等 により実施
特別広報 (本部より指示)	企総	—	課題	新規	制度改正等の状況を踏まえて適宜対応する（現時点で設定なし）	—	—	—